

# 本 会 記 事

## 1. 昭和58年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の昭和58年度総会ならびに研究発表会は、132名が参加し、11月17、18の両日、徳島市の眉山会館で開催された。

### 1) 総 会

17日の13時から開会され、昭和57年度の会務報告が承認されたのち、昭和58年度の事業計画ならびに予算案が上程され、承認された。議長は徳島地方病虫害防除所次長、以西信夫氏が当られた。

### 2) 研究発表

17日の14時から18日の12時まで、次の11課題について研究発表が行われ、討論した。座長として、山本孝彦、吉岡幸治郎、森 介計、葛西辰雄の各氏が当られた。

(1) 松本英紀・重松喜昭・安永忠道(愛媛農試)：ハウレンソウ、ウィルス病の防除について

(2) 都崎芳久・十河和博(香川農試)：タマネギ黒かび病の伝染経路について

(3) 山下 泉・堀内崇裕・井上 孝(高知県南国防除所)：高知県南国市におけるイネミズゾウムシの発生経過について

(4) 別宮岩義・上田 進・井伊吉博・村上要三(愛媛県南予防除所)イネズミゾウムシに対する各種薬剤の防除効果

(5) 藤田育資・川尻啓介・山田真也(徳島県阿南地方防除所)：イネミズゾウムシの生態と防除

(6) 宮下武則・青木 敏(香川防除所・香川農試府中分場)：香川県におけるコブノメイガの発生と被害

(7) 堀内崇裕・山下 泉・井上 孝(高知県南国防除所)：ハウスミカンにおけるスリップス類等による障害果の発生について

(8) 行成正昭(徳島果試)：ハマギガ類の寄生性天敵の二次寄生蜂

(9) 小阪和彦(香川農試)：ダイズサヤタマバエの誘引による発生消長調査

(10) 君波恒久・大崎憲生・松井啓三郎・春山 博・青木征男(大塚化学生物研究所)：オンコルによるコナガの防除について

(11) 脇屋春良・以西信夫・山下八十一(徳島地方防除所)：鳴門市大毛島におけるラッキョウのネダニ発生と防除

### 3) 協 議

17日の15時30分から17時まで、「徳島県における野菜病害の20年」について、山本 勉氏(徳島農試)、「カンキツの接木部障害におけるウィルスの介在」について、宮川経邦氏(徳島果試)に話題提供して戴いた。(要旨 ～ 頁)。座長は山本 磐、重松喜昭両氏が当られた。また、18日の9時から10時まで、各県における本年度の病虫害発生の特徴とその対策ならびに防除上の問題点について、山下定利(徳島)、野田弘之(香川)、武智文彦(愛媛)、川田洋一(高知)の各氏が報告され(要旨 ～ 頁)、意見を交換した。なお、座長は松崎征美、都崎芳久両氏が当られた。

## 2. 次年度大会

昭和59年度の本会総会ならびに研究発表会は、高知県が担当し、昭和59年11月中旬、高知市において開催する予定である。